

もくじ

1. 部位と名称	
各部の名称	2
2. 安全上のご注意	3～5
3. ご使用上のお願い	6～8
4. ご使用方法	
扉の調整方法	8
引き出しのパターン	9
内引き出しの使用方法	10
引き出し前板の調整方法	10
引き出し（Aパターン）の取り外し、取り付け方法	11
引き出し（Aパターン）前板の調整方法	11
引き出し（Bパターン）の取り外し、取り付け方法	12
引き出し（Bパターン）前板の調整方法	12～13
ギャラリ付引き出し前板の調整方法	13
クロスレールとボトルディバイダーについて（プルモーションスライドのみ）	13
ロック付き包丁差しについて	14
コンロ脇小引き出し前板の調整方法	15
棚板の高さを変えるには	15～17
ロック機構付きキャビネットについて	17
スイングダウンウォールについて	18～20
家電品収納庫について	21
引き出しトレイについて	22
プルモーション・ソフトスライド機能付の引き出し	23
洗剤カゴについて	23
マルチナまな板・マルチナ水切りについて	24
マルチナバスケットについて	25
楽すてポケットについて	25
5. お手入れ方法	
ステンレスシンク・手間らくシンクコート	26
人工大理石シンク	26
ステンレスワークトップ	26
人工大理石ワークトップ	26
メラミンカウンター・扉・キャビネット・引き出しトレイ・キッチンパネル	26
排水トラップ	27
コンロキャビネット	28
6. 仕様	29
7. 定期的な点検	29～30
8. 保障・点検・修理のご案内	30
9. お問い合わせ窓口	31
10. 保証書	31

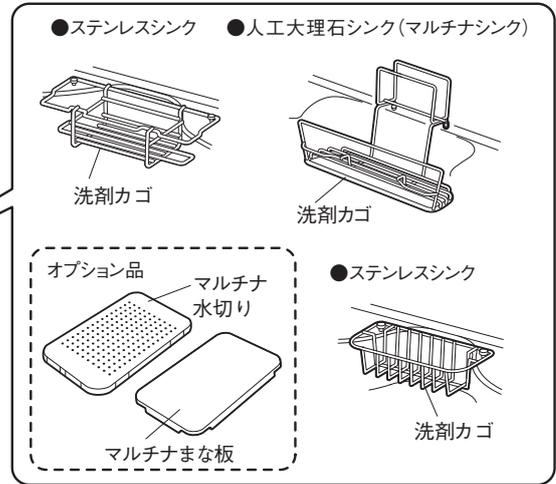
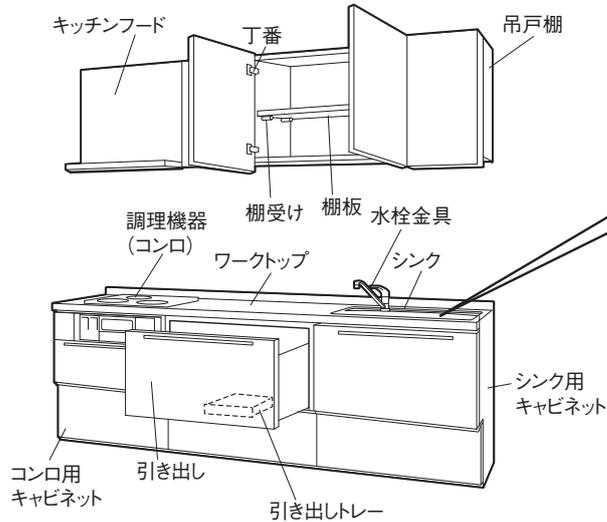
保証書在中

- このたびは、ハウステックシステムキッチンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、調理機器・オプション機器の取扱説明書とともに、大切に保管して必要なおきにご参照ください。
- この取扱説明書の巻末は、保証書になっています。  
保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

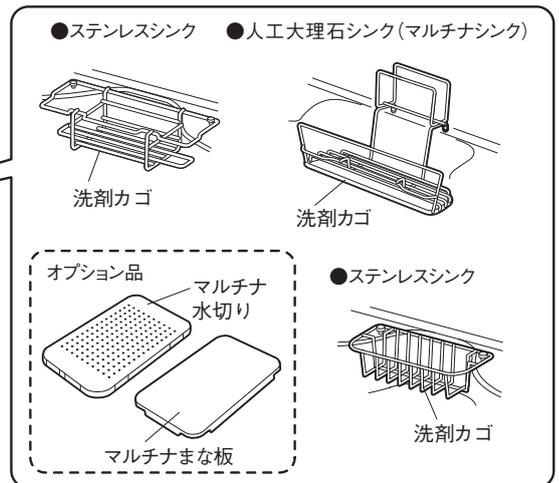
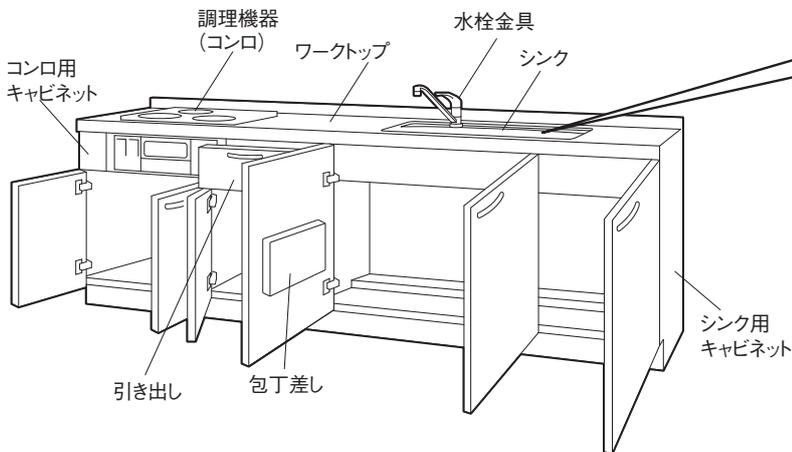
# 1. 部位と名称

## (1) 各部の名称

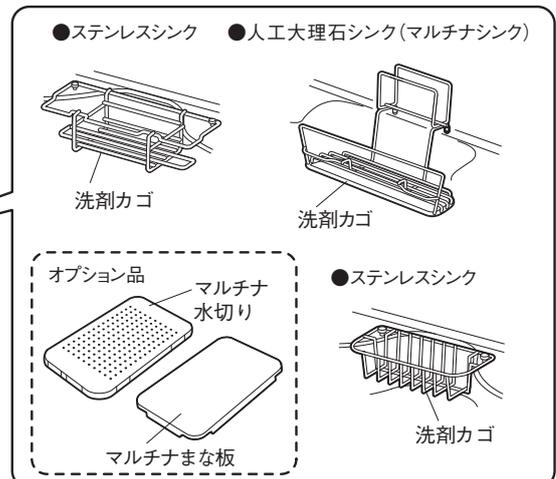
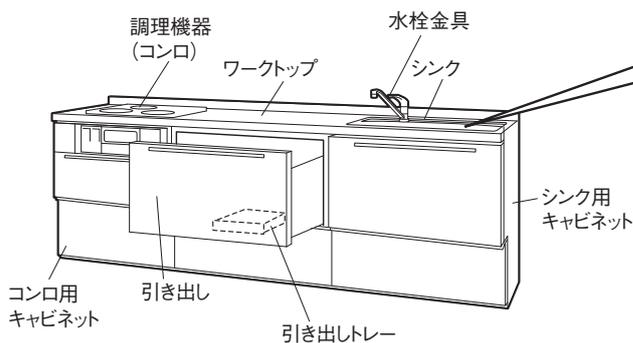
### スライド収納タイプ



### 開き扉タイプ



### ワイド、アイランドカウンタータイプ



## 2. 安全上のご注意（必ずお守りください）

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



### 警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



### 注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



### 警告

電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具を使わない。

たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になることがあります。



組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因になることがあります。



調理機器の上や周りには燃える物を絶対に置かない。

スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になります。



調理機器の使用後やお出掛けの時はスイッチが「切」になっていることを確かめる。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。



濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。



家電品収納庫に収納する家電製品は機器の取扱説明書にある設置基準に従ってください。

火災のおそれがあります。



一度に2つ以上の引き出しを開いたままにしない。

キャビネットが引き出しの収納物の重さで倒れるおそれがあります。



ガタついているコンセントは使わない。

火災、感電の原因となりますので、ただちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。



コンセントに水をかけない。

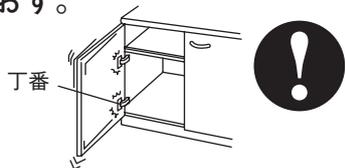
感電や火災の原因になることがあります。



## 2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

### ⚠ 注 意

扉が傾いたり、ガタついている時は、  
丁番のネジをしめなおす。



扉が落ちて、けがをする  
おそれがあります。  
(扉の調整方法：8ページ参照)

扉や取っ手にぶらさがらない。  
カウンターやワークトップの上に  
乗らない。



扉がはずれたり、けがをするおそれがあります。

扉を大きく開けすぎない。  
扉を無理に強く開けたり、閉めたり  
しない。

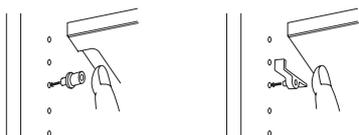
扉が破損したり、はずれて、けがをするおそれ  
があります。

扉開閉時に、  
丁番にさわらない。



丁番に指を挟んでけがをするおそれがあります。  
(特にお子様にはご注意ください。)

棚板を設置するときは、棚受を隙間のないように  
根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれ、収納物が落下して、けがをする  
おそれがあります。  
(棚板の高さの換え方：16ページ参照)

コンロ脇小引き出しには2kg以上収納しない。



引き出しがはずれて、けがをするおそれがあります。

スライド式引き出しに収納する物は、  
背の高さに注意する。

収納物が器具と接触し、ガス漏れ・水漏れや  
破損の原因になります。

引き出しを開閉しようとするときは、  
足などを引出しと床の間に挟まない  
ように注意する。

引き出しに挟まれて、けがをするおそれがあります。

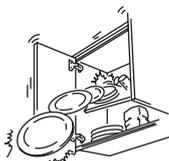
まな板はワークトップの水平面で使用する。  
水切りトレーをシンクに設置して、まな板を  
ワークトップと水切りトレーに  
またがって使用する際は  
安定する位置で使用する。

まな板がずれてけがをするおそれがあります。

固形、粉末および液体の塩素系洗浄剤・  
漂白剤・ぬめり取り剤は、使ったり、  
近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、  
ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になり、  
水漏れのおそれがあります。保管の場所や方法に十分  
注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の  
注意をよく読んでご使用ください。

棚板の上に、最大積載量以上載せない。  
※最大積載量は、17ページをご覧ください。



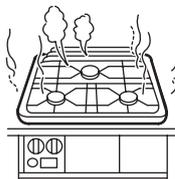
載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。

電気器具の電源プラグを抜く際は  
電源コードを持たずに、電源プラグを  
持って引き抜く。

コンセントや電気器具の電源コードが破損し、  
漏電や発火の原因になります。

## 2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

### ⚠ 注 意

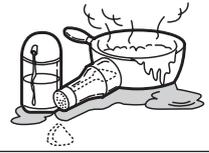
<p>電源プラグのほこりは定期的にとる。</p> <p>ほこりと湿気で絶縁不良となり火災発生のおそれがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。</p> 	<p>キャビネット内でオーブントースターやポットなどの、発熱する家電製品を使わない。</p> <p>火災の原因になるおそれがあります。</p> 
<p>引き出しの収納物は荷重が均等になるように入れる。</p> <p>引き出しが破損してけがをするおそれがあります。</p> 	<p>棚板からはみ出して収納しない。</p> <p>収納物が破損したり落下してけがをするおそれがあります。</p> 
<p>引き出しに、最大積載量以上の収納物を収納しない。</p> <p>※最大積載量は、9ページをご覧ください。</p> <p>引き出しが破損・落下し、けがをするおそれがあります。</p> 	<p>調理機器の使用直後は、調理機器周辺には手を触れない。</p>  <p>やけどのおそれがあります。</p> 
<p>設置してある調理機器以外の電気コンロ、ガスコンロなど熱源が露出する商品を使用しない。</p> <p>キャビネットが過熱し、火災のおそれがあります。</p> 	<p>包丁差しの固定ねじがゆるんでガタツキが発生したときは、ねじをしめ直るか、販売店に連絡する。</p> <p>包丁差しが外れて、けがをするおそれがあります。</p> 
<p>引き出しやスライドカウンターを引き出した状態で腰掛けたり寄りかかったり足を掛けて上に乗ったりしない。</p> <p>スライドカウンターが外れて、けがのおそれがあります。</p> 	<p>調理機器で鍋や鉄板を使う時はワークトップにはみださない。</p> <p>ワークトップが過熱し、火災のおそれがあります。</p> 
<p>自分で改造しない。</p> <p>思わぬ事故の原因になることがあります。</p> 	<p>スライドカウンターには熱い鍋、20kg以上の重量物、包丁などを載せない。</p> <p>やけど、けがのおそれがあります。</p> 
<p>てんぷら油や熱湯を直接排水口・シンクに流さない。</p>  <p>シンク裏の防滴材がはがれたり、排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。</p> 	<p>ガラスパーティションやコンロスクリーンなどのガラスが熱いうちに汚れを拭いたり、水をかけたりしない。</p>  <p>ガラスが破損し、けがをするおそれがあります。</p> 

### 3. ご使用上のお願い

#### ワークトップ・シンク・カウンター

塩分や油脂分の汚れや調味料などを付着させたまま放置しないでください。

そのまま汚れを放置しておくとしびや変色の原因となりますので、すぐに水で洗い流してください。



火のついたタバコを置かないでください。

タバコの火は変色の原因になります。



うがい薬（ヨード系）、シンナー、マニキュアの除光液などが付着した場合、放置しないでください。

そのまま汚れを放置しておくとしびや変色の原因となりますので、すぐに拭き取った後、水で洗い流してください。



硫酸・塩酸系の強酸類は絶対に使用しないでください。

ワークトップやシンクを傷めるおそれがあります。



塩素系漂白剤や酸素系洗剤はうすめて使用し、長時間放置しないでください。使用後は水で十分に流してください。

お手入れは水を十分に含ませたやわらかい布かやわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用してください。

変色したり、乾いた布やかたい布、研磨剤入りのスポンジ等でこすると傷がつくおそれがあります。



ぬれた包丁や缶詰など鉄製のものを放置しないでください。

鉄製のものは水分があるとすぐサビます。そのサビがもらいサビ及び変色の原因となります。



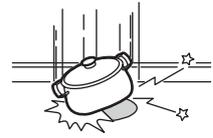
ワークトップやシンクの上で直接包丁を使わないでください。

傷がつくおそれがありますので、必ずまな板をご使用ください。



ワークトップやシンクの上に乗ったり、包丁や鋭利なものをあてたり、鍋やフライパンなど硬い物を落としたり、重い物を引きずらないでください。

ワークトップやシンクが変形したり、傷がつくおそれがあります。



L形人工大理石トップの接合部分に乗ったり、重い物を乗せないでください。

接合部分が割れることがあります。

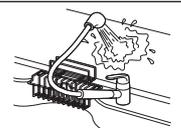
シンク内に氷やドライアイスを長時間放置しないでください。

シンク裏面に結露が発生し、キャビネット庫内をぬらすおそれがあります。



ワークトップに水をかけないでください。

水が流れ落ちて扉や床がぬれてくさるおそれがあります。



金属タワシや、粒子の粗いクレンザーでこすると傷が付きます。

食器や土鍋など硬いものでこすられた場合、傷が付きます。



人工大理石にコゲ取り材(塩化メチレン系)は使用しないでください。

付着した場合、表面が変色することがあります。



### 3. ご使用上のお願い

#### ワークトップ・シンク・カウンター

ワークトップ（人工大理石およびステンレス）やシンクの上に直接熱いフライパンや鍋などを置かないでください。

ひび割れ、変色、ふくれや裏面補強材が劣化するおそれがあります。必ず鍋敷き等をお使いください。



人工大理石は直射日光に当てないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。



水滴が残っていると水垢の原因になります。時間がたつと水垢がとれなくなるおそれがあります。

カウンターユニット・家電収納カウンターユニットのカウンターの上に30kgをこえるものを置かないでください。

カウンターが変形し、破損するおそれがあります。

#### 扉・キャビネット

火気を近付けないでください。

その原因になるばかりか、火災の原因となるおそれがあります。



直接日光をあてないでください。

そりや変色の原因となるおそれがあります。長期間ご使用いただくと直射日光などの影響で色合いが変わることがあります。



お手入れに台所用中性洗剤以外は使用しないでください。



変色したり、つやがなくなるおそれがあります。

ハミガキ、うがい薬などが付着したらその場ですぐに中性洗剤をつけたスポンジなどで洗い、水拭きをして洗剤分を拭き取り、から拭きをして仕上げてください。

放置すると変色・変質することがあります。

引き出し・扉・食器洗い乾燥機を開ける時は、左右または上下に隣接する引き出しを閉めてから開けてください。

扉と引き出しがぶつかり、傷や破損の原因になります。

扉・キャビネット・サイドパネルに水がかかったら、乾いた布で拭き取ってください。

扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

キャビネットなどに油が付着したら乾いた布でふき取ってください。

放置すると染みになることがあります。

吸盤を扉に取り付けしないでください。

扉が変色または、細かなヒビ割れが発生することがあります。

カウンターユニット上の吊戸棚に炊飯器などの蒸気が掛からないようにしてください。蒸気が掛かった場合は、乾いた布でふき取ってください。

扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

ぬれた手で扉や引き出しの開閉を行わないでください。

扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

ゴミ箱ワゴンにはキャスターが付いていますので床材によっては傷が付いたり、キャスターの樹脂が削れて床につくことがあります。

### 3. ご使用上のお願い

#### 排水トラップ・シンク

排水の流れが悪くなったら、バスケットを点検してください。  
排水プレートを外して、野菜くずなどが詰まっていたら取り除いてください。



#### ⚠ 注意

- てんぷら油や熱湯を直接排水口・シンクに流さない。



排水器具などが変形し、水漏れやシンク裏面の防滴材のハガレの原因になることがあります。



- 手間らくシンクコート（ステンレスシンク）  
手間らくシンクコートの油汚れの落ち易さはご使用とともに低下します。なお、その程度は使用期間、使用方法により異なります。

人工大理石シンクの排水プレートは強い衝撃を与えないでください。われるおそれがあります。

米ぬかや動物性油を多量に排水に流さないでください。排水ホースや排水管が詰まり、流れが悪くなったり、ホース内の異物により臭気が発生する場合があります。

### 4. ご使用方法

#### 扉の調整方法

- 扉の調整は丁番で行うことができます。調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。

#### ⚠ 注意

- ゆるめた調整ねじは、調整後にしっかり締め付ける。

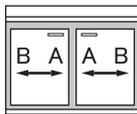


扉が外れて、けがをするおそれがあります。

#### 左右・傾きの調整方法（図-1）

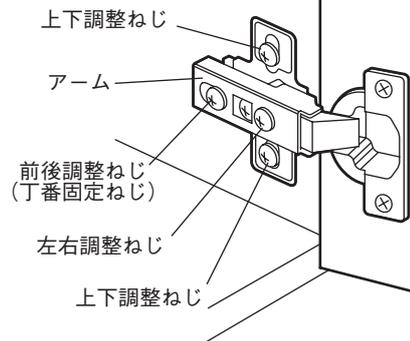
左右調整ねじを回すことで調整が行えます。

左右調整ねじを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。

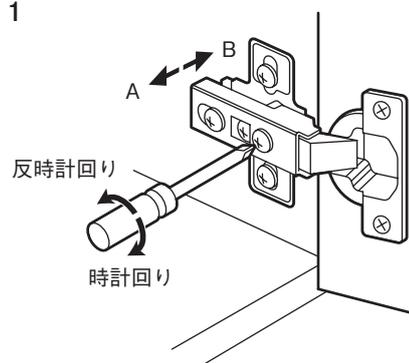


※調整は必ず±2mmまでとしてください。

#### 各部の名称



■ 図 - 1

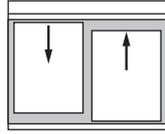


## 4. ご使用方法

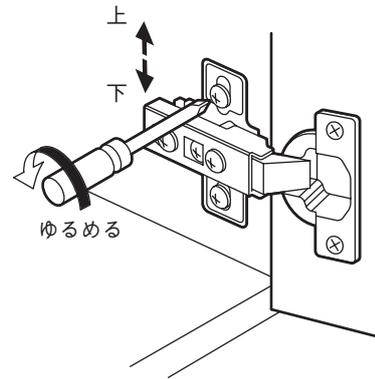
### 扉の調整方法

#### 上下の調整方法 (図-2)

2ヶ所の上下調整ねじをゆるめます。  
扉を上下に動かして、扉の調整をします。  
調整後はねじをしっかり締め付けてください。

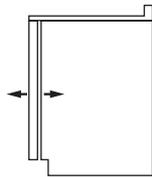


■図-2

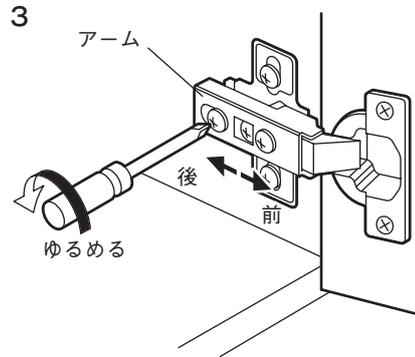


#### 前後の調整方法 (図-3)

前後調整ねじをゆるめます。  
アームを前後に動かして、扉の調整をします。  
調整後はねじをしっかり締め付けてください。



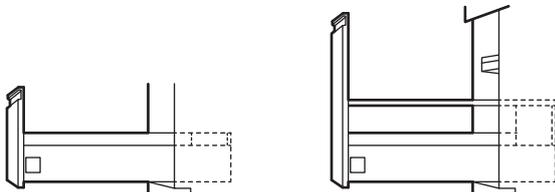
■図-3



### 引き出しのパターン

- 引き出しはキャビネット仕様により、2パターンあり、それぞれ下記最大積載量までの収納が可能です。
- 引き出しは扉の取っ手部を持って、やさしく開閉してください。  
取っ手を持たずに開閉すると、引出しに指などを挟み、けがをするおそれがあります。

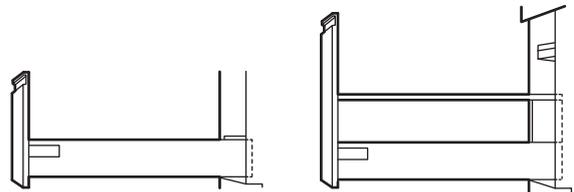
#### Aパターン



引き出しの奥行き約3/4まで引き出せます。

シンプルスライドタイプ/ソフトスライドタイプ  
最大積載量：12 kg

#### Bパターン



引き出しの奥行きいっぱいまで引き出せます。

ブルモーションスライドタイプ  
最大積載量：20 kg

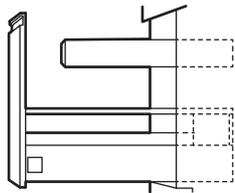
※「どこでも排水カバー-DRHK-1」併用時は、最大積載量:12kgとなります。

## 4. ご使用方法

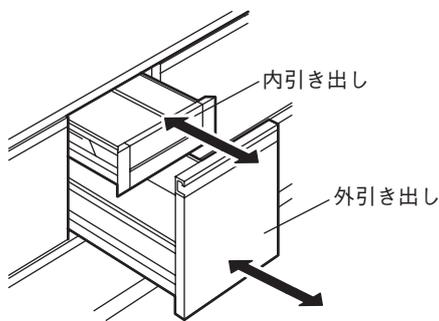
### 内引き出しの使用法

#### Aパターン

- 引き出しを引き出してから、内引き出しを手動で引き出してください。
- 引き出しを閉める際は、内引き出しを後方へスライドさせてから扉をゆっくりと閉めてください。

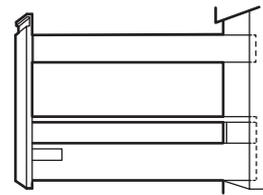


シンプルスライドタイプ/ソフトスライドタイプ

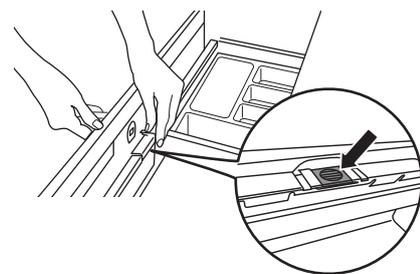


#### Bパターン

- 引き出しを引き出すと、連動して内引き出しが引き出されます。
- 下段の収納物を取り出したい時は、扉を押さえながら、扉手掛け前の黒いボタンを押し、ゆっくりと後方へスライドさせてください。
- 引き出しを閉めてから再度引き出すと、内引き出しも一緒に引き出されます。



フルモーション引き出しタイプ



### 引き出し前板の調整方法

引き出し前板の調整は、各タイプの調整方法に従って調整を行ってください。

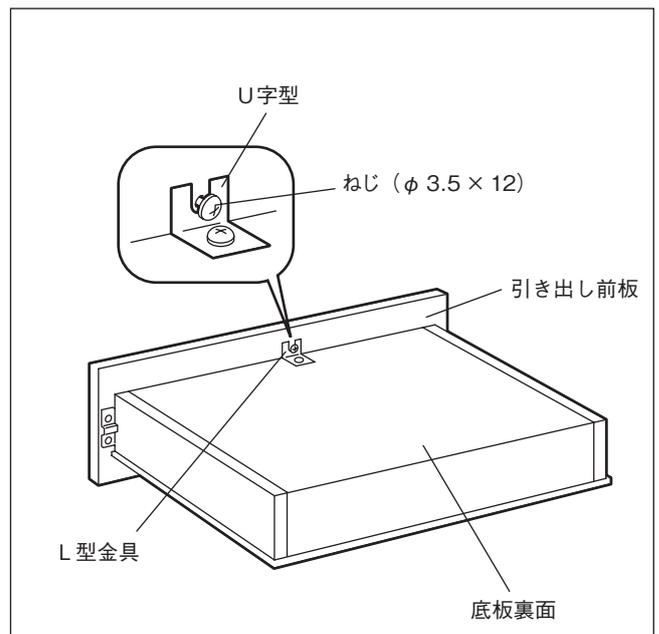
#### 間口 60cm 以上の場合

引き出し前板を調整する前に、引き出し底板に取り付けてあるねじ（右図）をゆるめてから前板の調整を行ってください。

※ 調整方法は 11～13 ページ参照

調整後は、ねじを締め付けてください

※ねじを締め付けないと、引き出し内の重さにより底板が下がりL型金具で下段扉や取っ手を傷付けたり、引き出しが破損するおそれがあります。



## 4. ご使用方法

### 引き出し (Aパターン) の取り外し、取り付け方法

- 引き出しの取り外し、取り付けをする際は以下の要領で行ってください。

#### 取り外し方法 (図-1)

- ① 引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ② ストッパーに当たりましたら、引き出しを上を持ち上げます。
- ③ 引き出しを手前に引き出します。

### ⚠ 注意

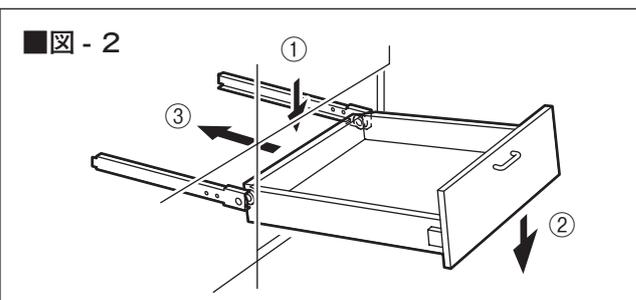
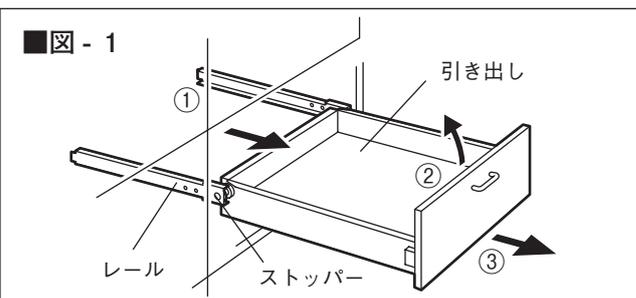
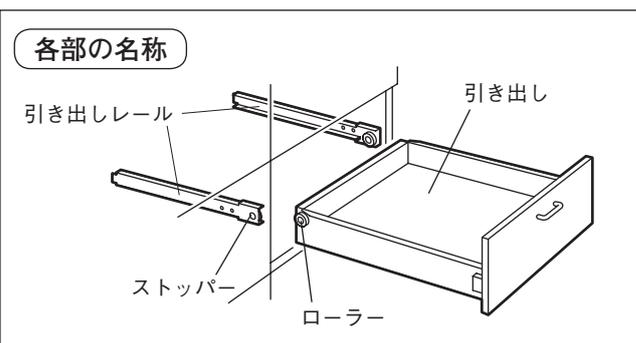
- 取り外す際には引き出し内の収納物をすべて出し、必ず引き出しに両手を添えて取り外す。

引き出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



#### 取り付け方法 (図-2)

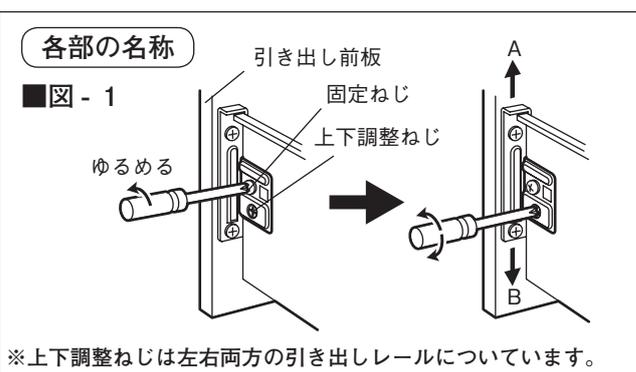
- ① 引き出しを両手で持ち、ローラーを引き出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ② ストッパーが引き出しレール側のローラーを乗り越えたら、引き出しを水平にします。
- ③ 水平に押し込みます。



### 引き出し (Aパターン) 前板の調整方法

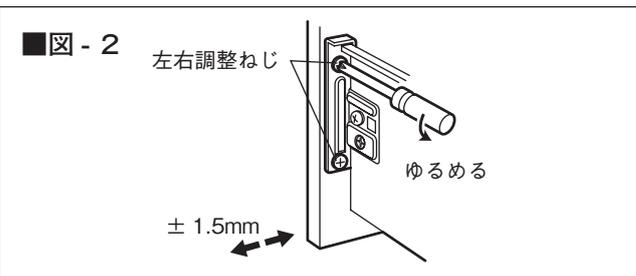
#### 上下の調整方法 (図-1)

- ① 固定ねじをゆるめます。
- ② 上下調整ねじを時計回りに回すと引き出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引き出し前板がA方向に動きます。
- ③ 調整後は固定ねじをしっかりと締め付けてください。



#### 左右の調整方法 (図-2)

- ① 左右両方の左右調整ねじをゆるめ、前板を左右に調整してください。
- ② 調整後は、左右調整ねじをしっかりと締め付けてください。



## 4. ご使用方法

### 引き出し（Bパターン）の取り外し、取り付け方法

#### 引き出しの取り外し方法（図-1）

- ① 引き出しをいっぱいまで引いてください。
- ② 少し上に持ち上げて、引いて取り外してください。

#### 引き出しの取り付け方法（図-2）

- ① 受けレールを奥まで入れてください。
- ② 引き出しを受レールに乗せてください。
- ③ カチャッと音がするまで引き出しを押し込んでください。

引き出しを取り付けた後は、必ず何度か開閉してがたつきが無い、異音がないか確認してください。正しく取り付けられていないと引き出しが外れ、けがをするおそれがあります。

ギャラリー付引き出しの取り外し、取り付けをする際には、ギャラリーを持たないでください。（図-3）

#### ⚠ 注意

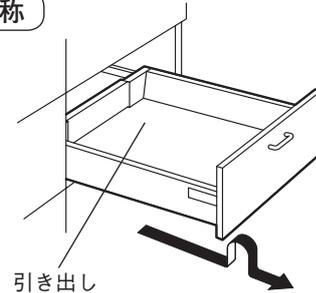
- ギャラリーを持たない。

ギャラリーが外れて引き出しが落下し、けがのおそれがあります。

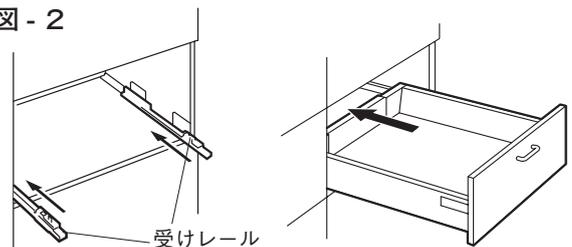


#### 各部の名称

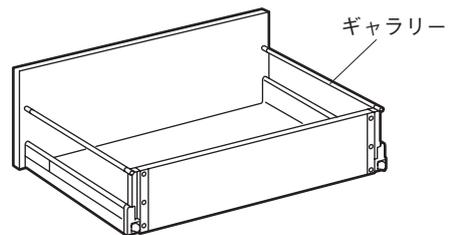
■ 図 - 1



■ 図 - 2



■ 図 - 3



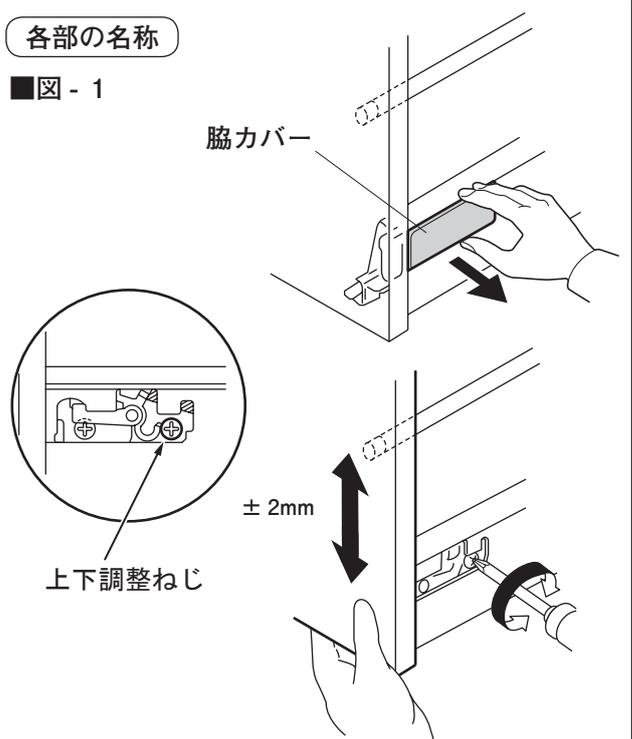
### 引き出し（Bパターン）前板の調整方法

#### 上下の調整方法（図-1）

- ① 脇カバーを取り外してください。外す際は図のように脇カバーの上下をつまんで矢印の方向に引っぱって外してください。
  - ② プラスドライバーで上下調整ねじを回すだけで上下調整できます。
- ※ 上下調整ねじは一方方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。
- ※ 脇カバーを外す際は、指・ツメを傷つけないように注意してください。

#### 各部の名称

■ 図 - 1



## 4. ご使用方法

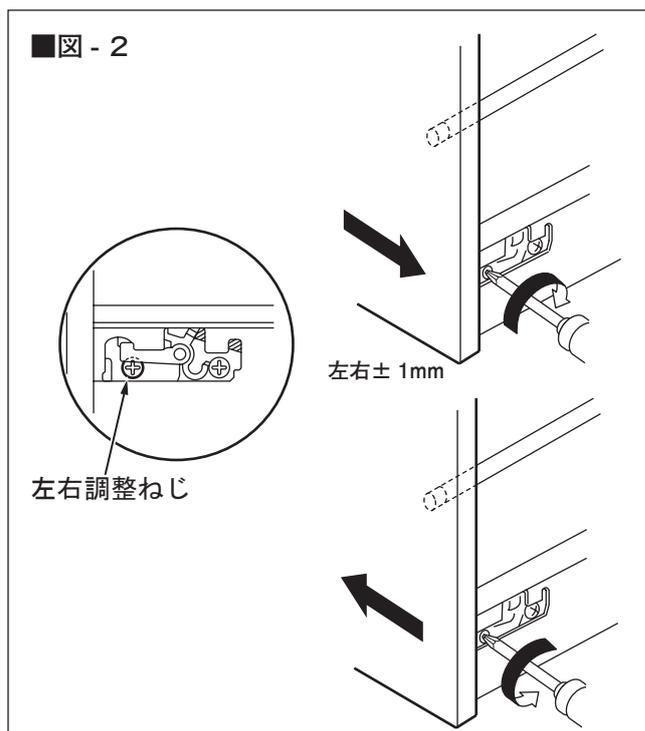
### 引き出し（Bパターン）前板の調整方法

#### 左右の調整方法（図-2）

- ① 左右調整ねじを回して、前板を左右に調整してください。
- ② 必ず左右両側の調整を行ってください。
- ③ 調整後は、脇カバーを取り付けてください。

※ 回しすぎるとねじ（樹脂部材）が痛みますので注意してください。

■ 図-2

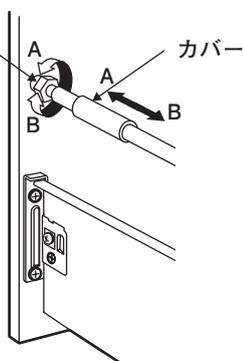


### ギャラリー付引き出しの調整方法

#### 前後調整をする場合

##### Aパターン

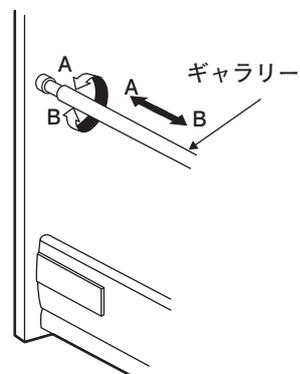
アジャスター



カバーを矢印の方向へずらして、アジャスターを回すと前板を前後に調整できます。調整後カバーを元の位置に戻してください。

##### Bパターン

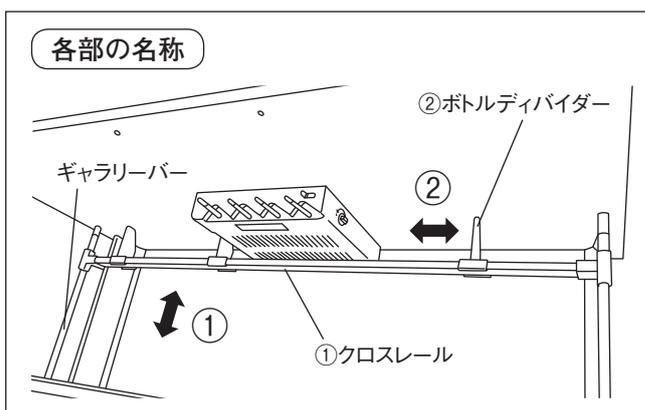
ギャラリーを回すと、前板を前後に調整できます。



### クロスレールとボトルディバイダーについて（ブルモーションスライドのみ）

- スライド収納タイプのシンクキャビネットのクロスレール及びボトルディバイダーは、収納物の大きさに合わせて前後左右に移動させてご使用ください。

- ① クロスレール：前後にスライドさせて位置を調整してください。
- ② ボトルディバイダー：左右にスライドさせて位置を調整してください。



## 4. ご使用方法

### ロック付き包丁差しについて

#### 使用方法

包丁が4本収納可能です。  
包丁差しのロックつまみを押しながら右へスライドさせると、包丁が抜けないようにロックされます。  
※柄と刃の部分に段差が少ないものは、ロックが掛かりません。

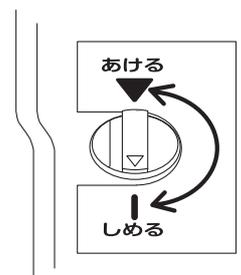
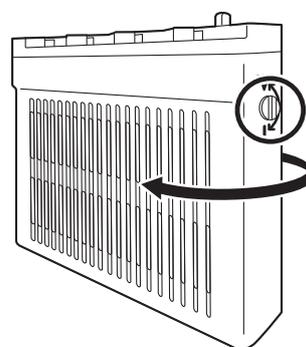
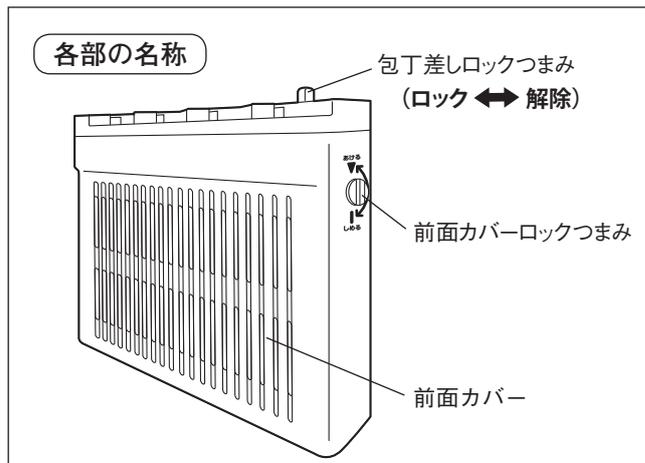
#### お手入れ方法

前面カバーを外して包丁差し内部を清掃することが出来ます。

#### ●ロック付き包丁差しの取り外し方法（右図参照）

側面にあるロックつまみの矢印をあける▼に合わせ、つまみを持ったまま矢印の方向に外す。

前面カバーを外す場合は、無理に力を加えますと破損、けがのおそれがありますのでご注意ください。



前面カバーロックつまみ

#### ⚠ 注意

- 取り外し時、無理に力を加えない。



つめ部分が引っかかり破損するおそれがあります。

- 本体受けを固定しているねじは外さない。



包丁の落下につながるおそれがあります。

#### ●ロック付き包丁差しの取り付け方法

「ロック付き包丁差しの取り外し方法」の逆の手順で前面カバーを確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合、前面カバーが外れて包丁でけがをするおそれがあります。

#### ⚠ 注意

- 包丁は濡れたまま収納しない。



扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

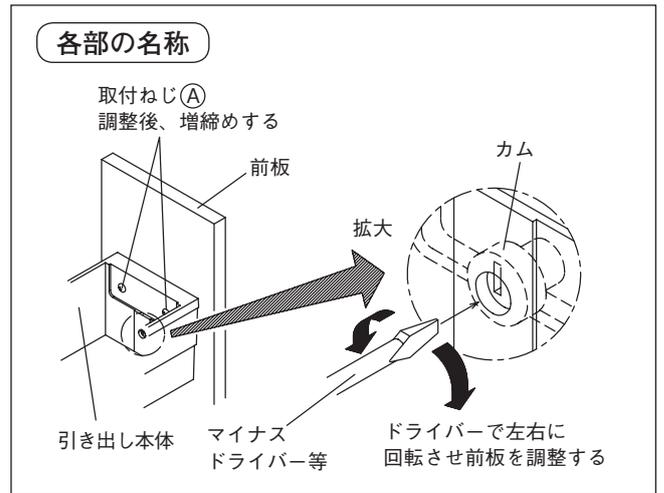
## 4. ご使用方法

### コンロ脇小引き出し前板の調整方法

前板を片手で押さえながら、引き出し本体と前板を締めている取付ねじ<sup>Ⓐ</sup>（2ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ねじを軽く締めます。

必要な場合、引き出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。

調整が完了したら、ねじを増締めしてください。



## 4. ご使用方法

### 棚板の高さを変えるには

- 棚板の高さを変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さを変えられない機種や棚受けの形状が異なる機種もあります。

### お願い

- 棚板の高さを変える場合はキャビネット内部に傷を付けない様に注意して行ってください。

#### 棚受けタイプの確認

棚受けには2種類のタイプがあります。棚受けの形状を確認の上、以下の作業を行ってください。

#### 棚板の取り外し

##### ◆Aタイプの場合

棚板を上方向に持ち上げて、取り外してください。その後、左右で計4ヶ所の棚受けを矢印の方向に引き抜いてください。(図1-A)

##### ◆Bタイプの場合

棚受け前部のツメを外してから棚板を外してください。その後、左右で計4ヶ所の棚受けを矢印の方向に引き抜いてください。(図1-B)

#### 棚板の取り付け

##### ◆Aタイプの場合

左右で計4ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから、棚板を載せてください。(図2-A)

##### ◆Bタイプの場合

左右で計4ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから、キャビネット奥側に取付けた棚受けのツメに棚板を押し込んだ後、手前側の棚受けで棚板を挟み込んでください。(図2-B)

### 注意

- 棚板の高さを変える際には、棚板上だけでなく、キャビネット内の収納物すべてを降ろしてから行う。

収納物が落下して、けがを  
おそれがあります。



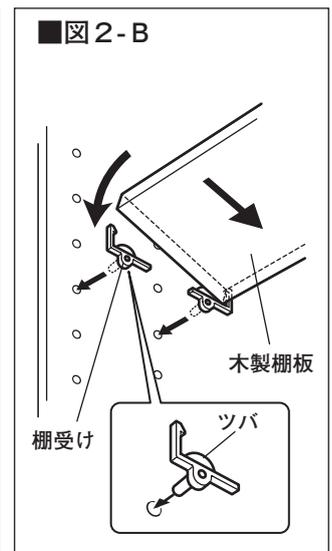
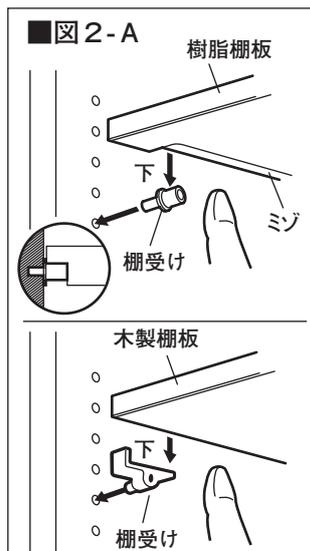
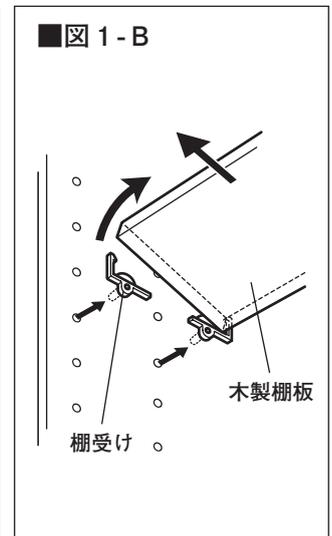
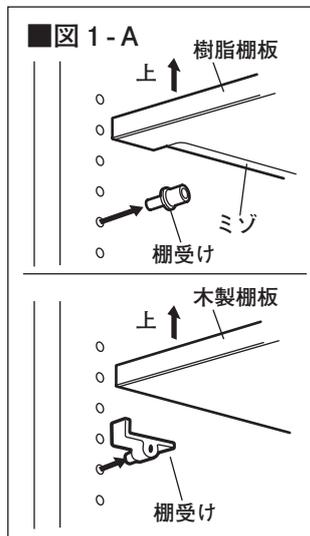
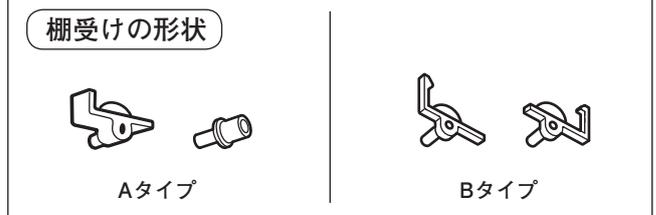
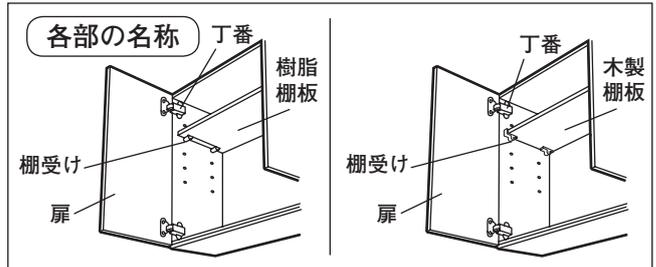
- 棚板端のミズよりも少し内側に手を添えて持ち上げる。

棚板と棚受けの間に手がはさまって、  
けがを  
おそれがあります。



- 棚受けは、4ヶ所同じ高さにセットする。

棚板が安定せず、外れて上の収納物が  
落下して、けがを  
おそれがあります。



棚受けにはツバがついてい  
ます。棚板は棚受けが抜けない  
ようにツバを挟み込んで固定  
してください。

棚受けにはツバがついてい  
ます。棚板は棚受けが抜けない  
ようにツバを挟み込んで固定  
してください。

## 4. ご使用方法

### 棚板の最大積載重量について

- 棚板の仕様により、棚板1枚につきそれぞれ右表の重量まで収納ができます。種類によりますが、直径20cm程度の皿（約500g）を目安としてください。

ベースキャビネット	共通	20kg
ウォールキャビネット	共通	20kg
キッチンファニチャー および オープンキッチンの リビング側収納	家電収納トール用	10kg
	アイランド・ワイドカウンター用	8kg
	上記以外の棚板	20kg

### ロック機構付きキャビネットについて

地震などの揺れを感知して扉を自動的にロックし、収納物の飛び出しを防ぎます。

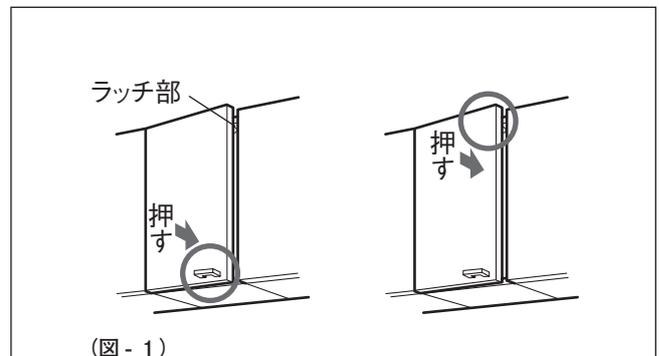
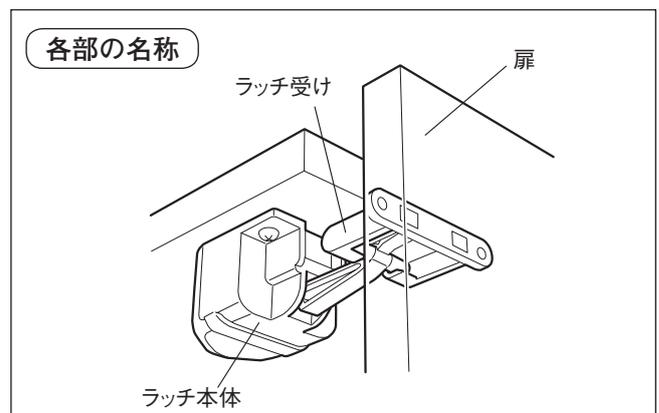
- ※ 設置状態、収納物、振動の状況等によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

#### ロック機構の解除方法

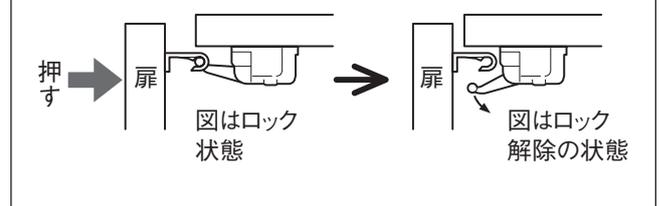
ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。(図-1)

- ※ 解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



(図-1)



### ⚠ 注意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が、有効に働かなくなるおそれがあります。



- キャビネットに収納物をのせすぎない。

キャビネットが変形しロック機構が作動し扉が開かなくなるおそれがあります。



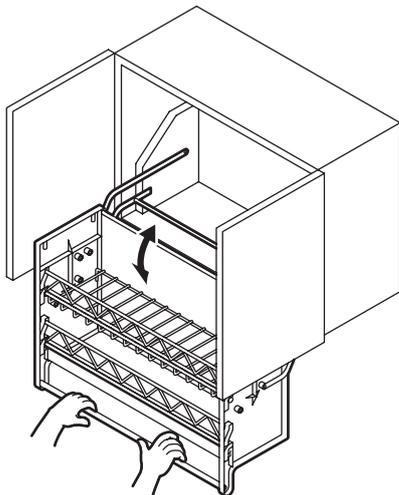
## 4. ご使用方法

### スイングダウンウォールについて

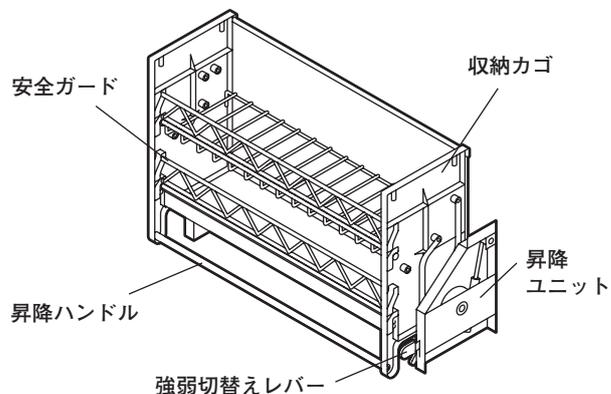
#### 使用方法

##### 収納カゴの昇降方法

- 扉を完全に開き、両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れしてください。

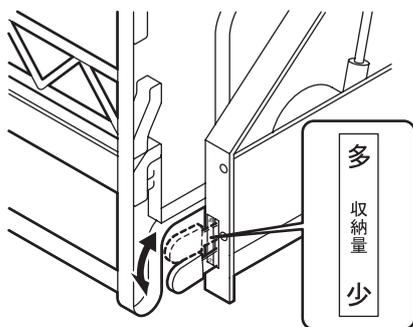


##### 収納カゴ各部の名称



##### 収納量による強弱切替えレバーの操作

- 右の表を目安に強弱切替レバーを収納量に応じて調節し、適切な範囲で使用してください。また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を確認して必要があれば調節してください。



収納重量 / レバー	左レバー	右レバー
約 0 ~ 5 kg	少	少
約 4 ~ 9 kg	少	多
	多	少
約 10 ~ 15 kg	多	多

- 衝撃が無く、下まで降下する状態がそのレバー設定の目安です。
- 収納カゴがおさまっている時に、レバーの切替をしてください。  
(収納カゴが下がっている時には、レバーは切替えできません。)

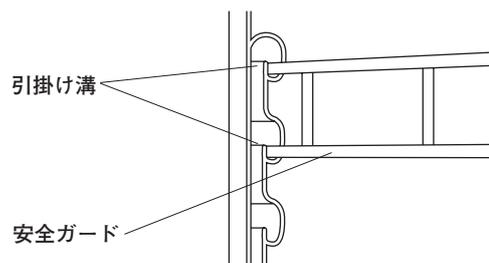
#### 安全ガードの移動方法

安全ガードを両手で持ち、上下に移動させてください。安全ガードの両端は確実に、引掛け溝に入れてください。

#### 注意

- 収納物の落下防止のため、必ず安全ガードをかける。

棚板が安定せず、外れて上の収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



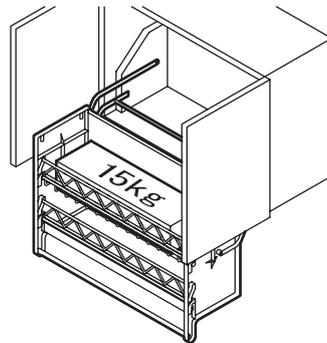
## 4. ご使用方法

### スイングダウンウォールについて

※スイングダウンウォールをご使用の際に次のことに注意してください。

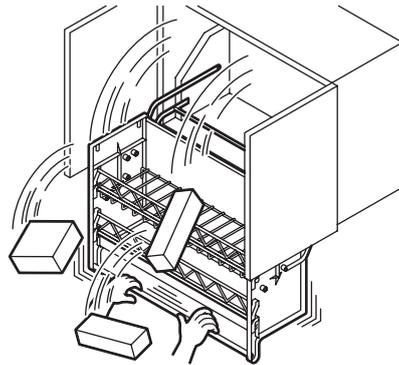
#### ⚠ 注 意

- スイングダウンウォールの収納カゴには、15 kg以上載せない。  
( 直径 20cm 程度の皿 (約 500 g) 30 枚までを目安としてください。  
但し、皿の材質、形状により異なります。 )



スイングダウンウォールが壊れ、収納物が飛び出してくるによりけがをする危険があります。

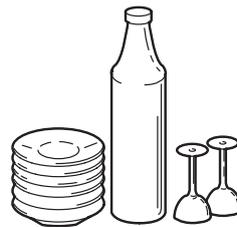
- スイングダウンウォールの収納カゴの操作は、ゆっくりと行う。



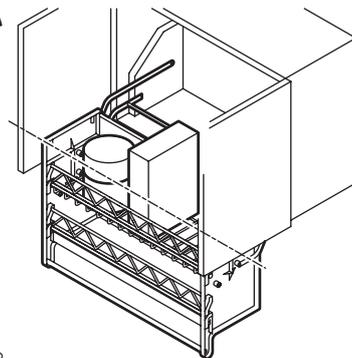
故障の原因や収納物が落ちてけがをする危険があります。

- ビンなどの不安定なものや、すべりやすいものは収納しない。

収納カゴを上げ下げした際、収納物が落ち、けがをする危険があります。



- 収納物が、収納カゴ側板の高さより上へ出たり、収納カゴの底面、背面のすきまからズレないように収納する。



収納カゴを上げ下げした際、収納物が吊戸棚本体に当たることにより収納物が飛び出し、けがをする危険があります。

## 4. ご使用方法

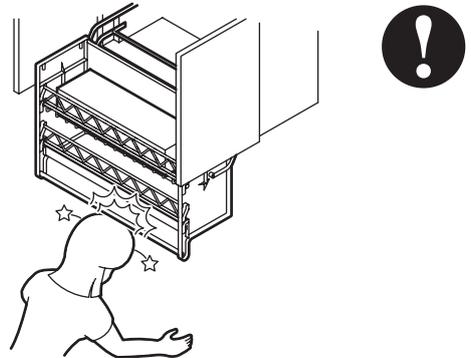
### スイングダウンウォールについて

※スイングダウンウォールをご使用の際に次のことに注意してください。

#### ⚠ 注 意

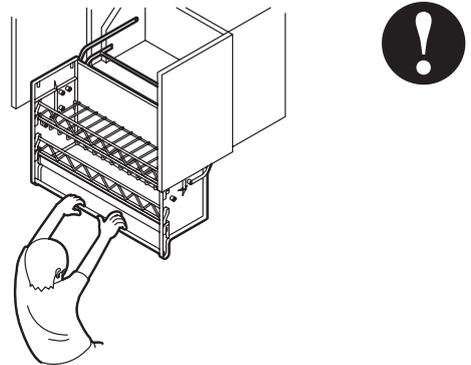
- 調理作業時に収納カゴを降ろしたまま放置しない。

収納カゴに頭などをぶつけ、けがをする危険があります。



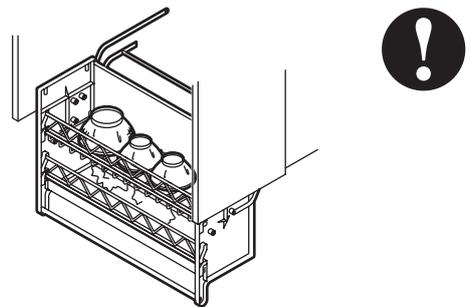
- スイングダウンウォールの昇降ハンドルにぶらさがらない。

スイングダウンウォールや、収納物が落ちてけがをする危険があります。



- スイングダウンウォールの収納カゴにぬれたものを収納しない。

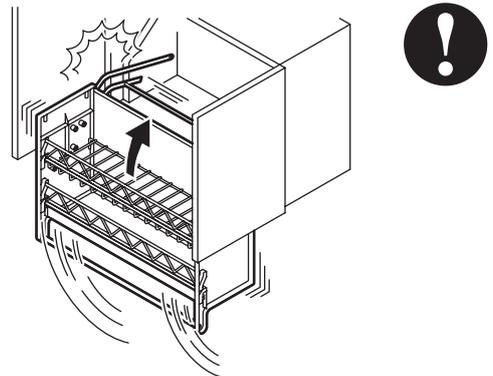
スイングダウンウォール機器にサビが発生して故障の原因になります。



- 強弱切替えレバーは収納重量に対して適切にセットする。

無積載の時、レバーを（多・多）にしないでください。収納カゴが勢いよく戻ります。

15 kg積載時レバーを（少・少）にしないでください。収納カゴが急降下してけがをするおそれがあります。

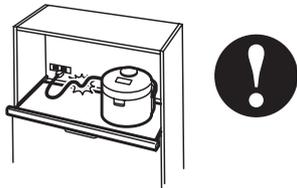


## 4. ご使用方法

### 家電品収納庫について

#### 警告

- スライドカウンターを出し入れする際は、家電品の電源コードを挟み込まない。



電源コードが断線し、漏電や火災の危険があります。

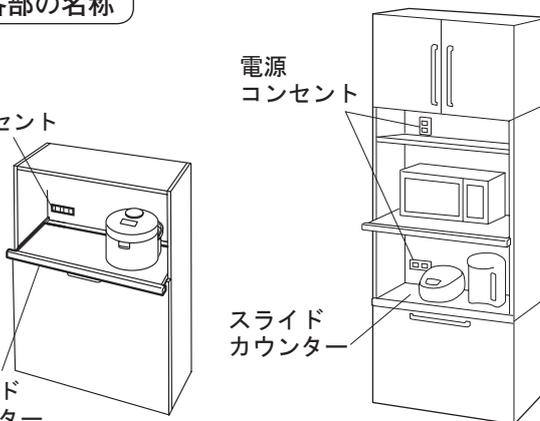
#### 各部の名称

電源コンセント

スライドカウンター

電源コンセント

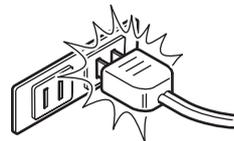
スライドカウンター



#### 警告

- 家電品の電源プラグは確実に差し込んで使用する。

漏電や、火災の危険があります。



- 電源コンセントには1口で1480Wを超える電気器具を使わない。

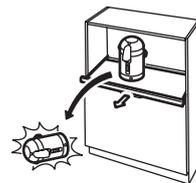
火災のおそれがあります。



#### 注意

- スライドカウンターを出し入れする際は、ゆっくり行う。

家電品が転倒・落下し、けがややけどをする危険があります。



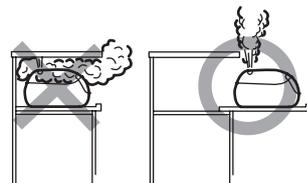
- スライドカウンターに、20kg以上の物を載せない。スライドカウンターに、乗ったり、ぶらさがったりしない。けがのおそれがあります。



#### お願い

- 家電品収納庫で炊飯器を使用するときは必ずスライドカウンターを引き出して使用してください。

スライドカウンターを押し込んだまま炊飯しますと、キャビネット内に水滴が付き、割れ、フクレ等が発生するおそれがあります。



- 家電収納庫、カウンターユニットなどの上に電子レンジ等を設置する場合は、各機器の取扱説明書に記載された設置スペースを確保してください。



## 4. ご使用方法

### 引き出しトレーについて

スライド収納タイプには引き出しトレーを設置できます。  
カトラリー類の整理にご使用ください。

#### ⚠ 注意

- 樹脂を傷める洗剤、溶剤などを付着させない。  
トレーが変色・変質したり、割れるおそれがあります。



- 引き出しトレーの取り外し、取り付けをする際は、以下の要領で行ってください。
- ※ 引き出しパターンごとの形状は、「P9.4.ご使用方法引き出しのパターン」を参照ください。

- Aパターン引き出し（オプション）  
取り外し方法（図-1）  
① トレーを上を持ちあげて取り外してください。

#### 取り付け方法（図-2）

- ① トレーを右図のように設置してください。

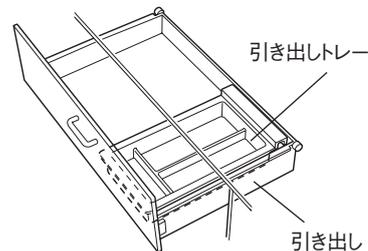
- Bパターン引き出し（付属）  
取り外し方法（図-1）  
① トレーを上を持ちあげて取り外してください。

#### 取り付け方法（図-2）

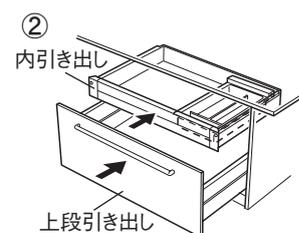
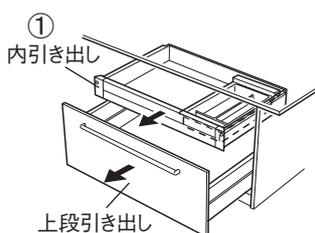
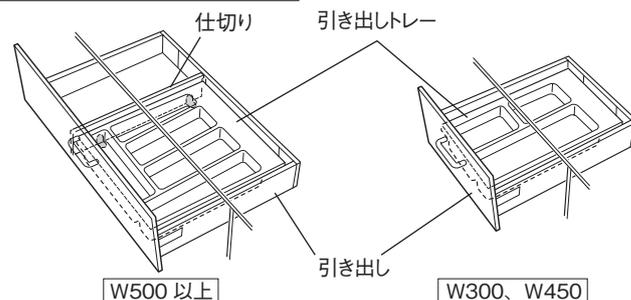
- ① トレーを右図のように設置してください。

#### 各部の名称

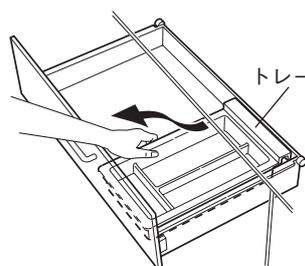
Aパターン  
引き出しの場合



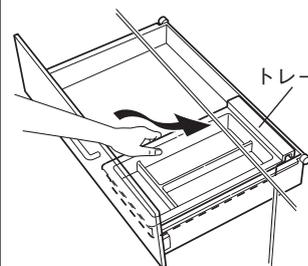
Bパターン引き出しの場合



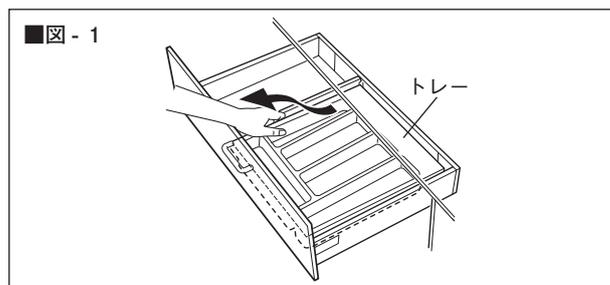
■図-1



■図-2



■図-1



## 4. ご使用方法

### ブルモーション・ソフトスライド機能付の引き出し

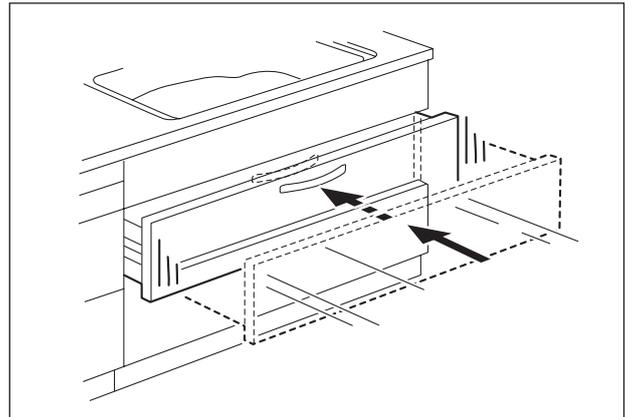
引き出しを閉めると、閉まる手前で衝撃を吸収して静かに閉まります。引き出しの重さや開閉スピード、レール長さにより効果は異なります。引き出しを閉める際は、指などを挟まないように注意してください。

#### お願い

- 引き出しを急激に開閉しないでください。



引き出しや引き出し内の収納物が破損するおそれがあります。また、ブルモーション機能、ソフトスライド機能の故障の原因となるおそれがあります。

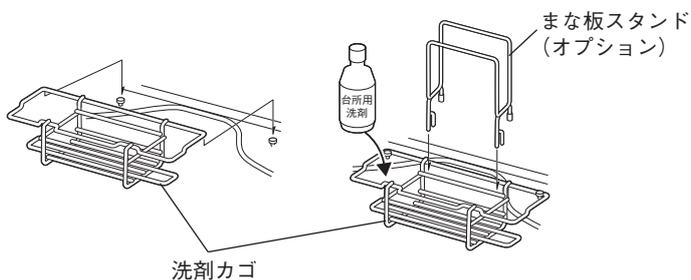


### 洗剤カゴについて

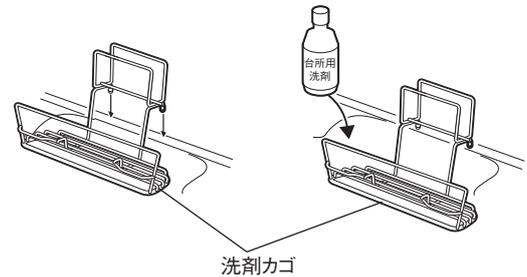
脱着の出来る洗剤カゴがついています。洗剤の置き場等にご使用ください。  
まな板スタンド（オプション）がある場合は、洗剤カゴに取付けてください。

#### 各部の名称

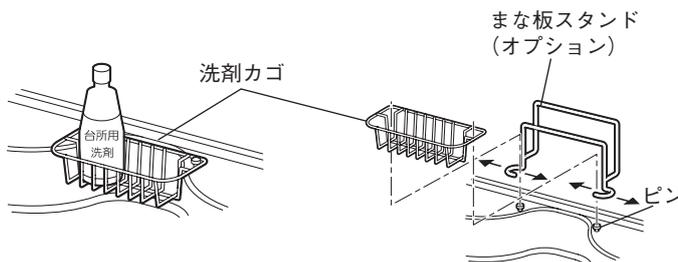
- ステンレスシンク（手間らくシンク・手間らくシンクコート）



- 人工大理石シンク（マルチナシンク）



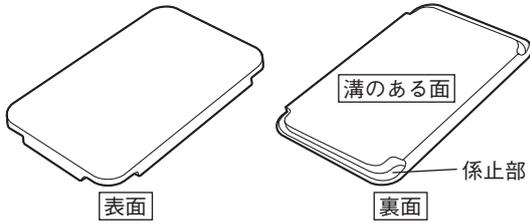
- ステンレスシンク（CM・KSシンク）



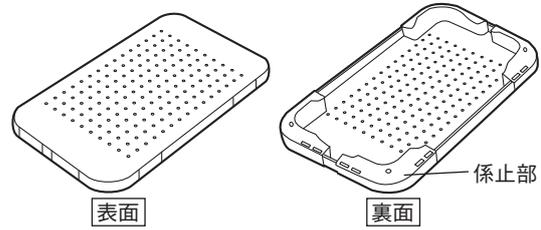
## 4. ご使用方法

### マルチナまな板・マルチナ水切りについて（オプション）

マルチナシンクの下・左右中央で自由にお使い頂けます。



マルチナまな板



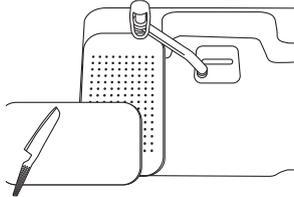
マルチナ水切り

#### ●上段でご使用の場合

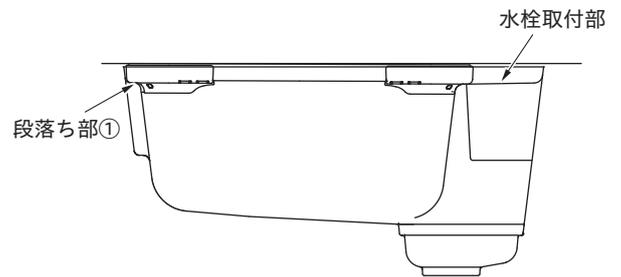
シンク左右手前の段落ち部①と奥側の水栓取付部にマルチナまな板またはマルチナ水切りの裏面の係止部を合わせるように設置してください。

#### ⚠ 注意

- マルチナ水切りにまな板を渡して使用する際は、安定する位置で使用する。



まな板がずれてけがをするおそれがあります。



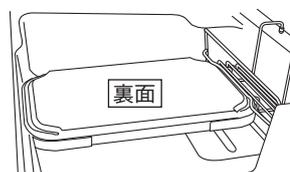
#### ●下段でご使用の場合

シンク中央手前の段落ち部②と奥側に配置した洗剤カゴの受け部にマルチナまな板またはマルチナ水切りの裏面の係止部を合わせるように設置してください。

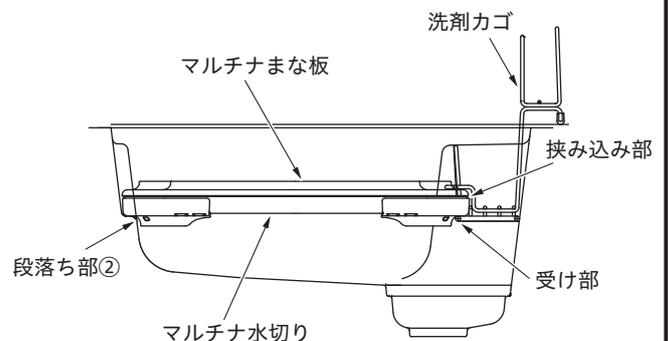
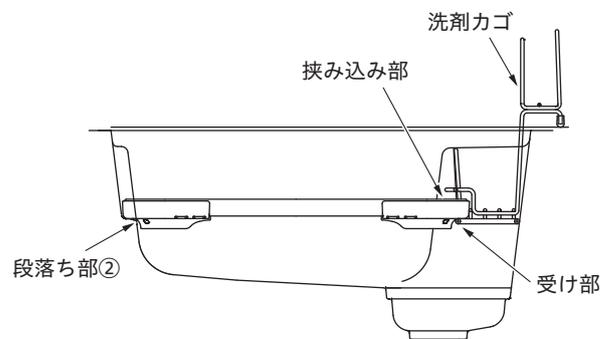
また、マルチナ水切りを下に配置し、マルチナまな板の裏面を上にして洗剤カゴの挟み込み部に差し込むようにしてマルチナ水切りの上に重ねることで、硬い野菜などを切るのにもご使用頂けます。

#### ⚠ 注意

- マルチナシンク下段で力を入れて食材を切る場合は、付属のマルチナ水切りの上に必ずマルチナまな板を裏向きに挟み込み部に確実に差し込み安定した状態で作業する。



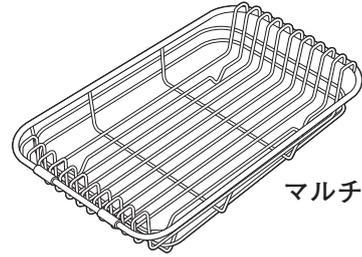
まな板がずれてけがをするおそれがあります。



## 4. ご使用方法

### マルチナバスケットについて (オプション)

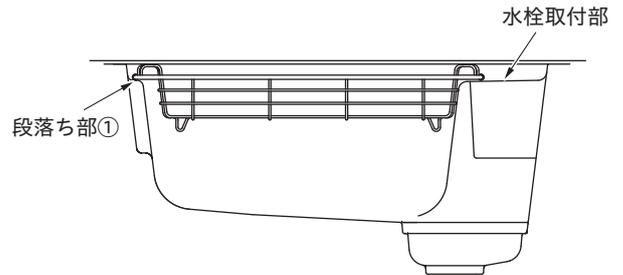
マルチナシンクの上下・左右中央で自由にお使い頂けます。



マルチナバスケット

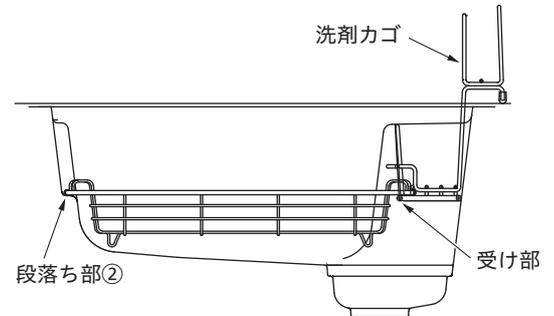
#### ●上段でご使用の場合

シンク左右手前の段落ち部①と奥側の水栓取付部にマルチナバスケットを設置してください。



#### ●下段でご使用の場合

シンク中央手前の段落ち部②と奥側に配置した洗剤カゴの受け部にマルチナバスケットを設置してください。



### ⚠ 注意

- マルチナ(まな板・水切り・バスケット)をキャビネット内に収納する際には乾燥させてから収納する。

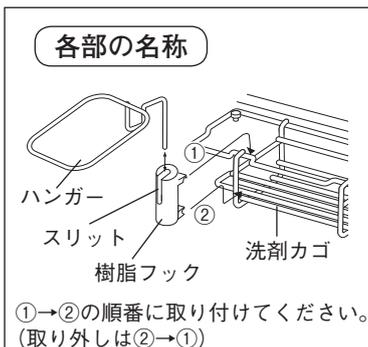


濡れたまま収納すると、扉やキャビネットがふくれるおそれがあります。

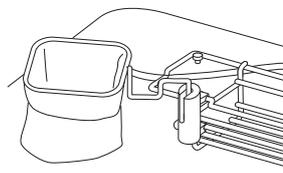
### 楽すてポケットについて (オプション)

使い方に合わせて位置を変えてください。

- 市販の専用袋をご使用ください。
- 樹脂フックのスリットの途中でハンガーを回転させないでください。
- 袋はこまめに取り替えてください。
- ゴミを無理に押し込まないでください。ハンガーが曲がったり、フックが破損します。

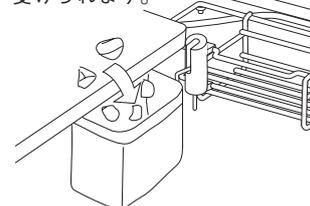


#### ●上段設置時

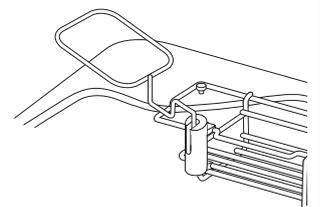


#### ●下段設置時

ハンガーを手前に回して下げるとまな板の切りクズを受けられます。



#### ●使用しない時



専用袋：三角コーナーいらず専用袋 ダイセルファインケム(株)製

## 5. お手入れ方法

- 汚れはお手入れが早いほど、簡単に落ちます。  
こまめなお手入れがきれいにお使いいただける秘訣です。
- 下記以外の機器のお手入れについては、それぞれの機器に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

### ステンレスシンク・手間らくシンクコート

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。  
手間らくシンクコートの油汚れの落ち易さは使用期間、使用方法により異なります。



台所用中性洗剤

### 人工大理石シンク

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後に乾いた布で水分を良く吸い取ってください。



台所用  
中性洗剤

### ステンレスワークトップ

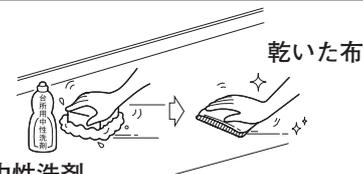
使用後はよく、水洗いし、乾いた布等で拭きとってください。

乾いた布



塩分や油脂分の汚れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。  
ヘアライン仕上げの場合は、目の方向と平行になるように拭いてください。

台所用中性洗剤



### 人工大理石ワークトップ

日常のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で水洗いまたは、台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後に乾いた布で水分を良く吸い取ってください。

台所用  
中性洗剤



### メラミンカウンター・扉・キャビネット・引き出しトレイ・キッチンパネル

- 軽い汚れは柔かい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、軽く水拭きし、乾いた布等で拭きとってください。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。放置すると扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

### お 願 い

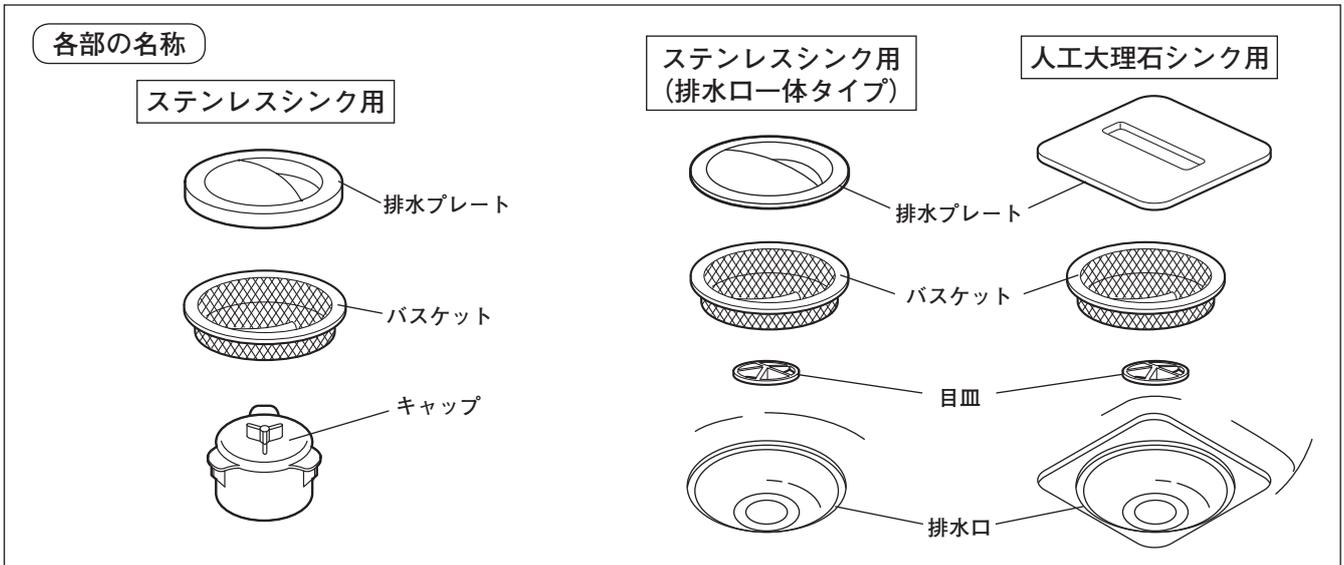
- クレンザー、硬いタワシなどは扉に傷をつけますので、使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・薬品・溶剤等を使用すると変色、変質の原因になりますので使用しないでください。



## 5. お手入れ方法

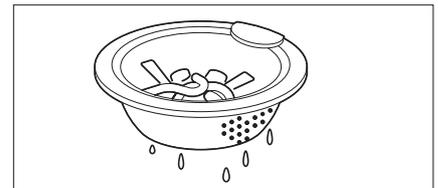
### 排水トラップ

週1回程度、排水プレート、バスケット、目皿、及び排水口内部の汚れを、ぬるま湯または、台所用中性洗剤で落としてください。



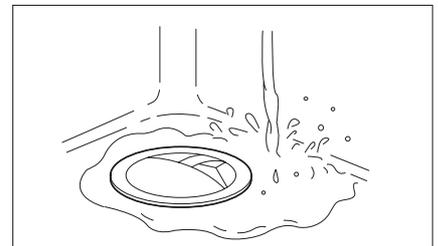
#### 調理くずがたまった場合

バスケットを取り出し、水気を切ってから、中のくずを捨てます。くずをためすぎると、臭いの元になるばかりでなく、水の流れも悪くなります。



#### 水槽に水をためる場合

排水プレートを外してフタをセットします。※ステンレスシンクのみ(フタはオプション品です。)



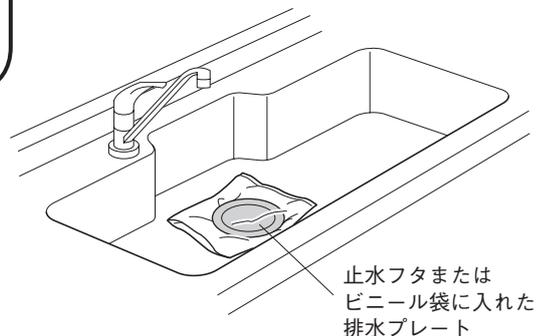
### お 願 い

- フタは完全水密ではありませんので、ためた水が少しずつ減っていく事があります。また、蛇口を閉め忘れたまま水をためると、シンクより水があふれますのでご注意ください。



長期間ご使用にならない場合はシンク内の水気をふき取り、封水が切れないように止水フタまたはビニール袋に入れた排水プレートを取付けてください。

封水が切れると排水管から異臭が上がったり、浄化槽の消毒用塩素ガス等でシンクや金属部品がサビるおそれがあります。



止水フタまたはビニール袋に入れた排水プレート

## 5. お手入れ方法

### コンロキャビネット

#### 点検口フタの取り外し、取り付け方法

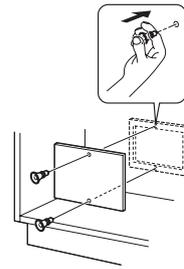
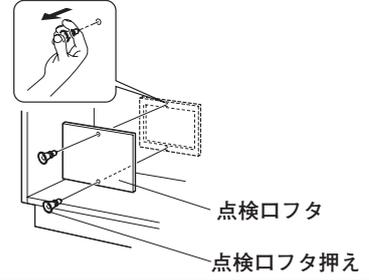
##### ①取り外し方法

キャビネット背面の点検口フタ押えを引き抜き、点検口フタを取り外してください。

##### ②取付け方法

点検口フタの取付穴とコンロキャビネット背面の取付け穴位置をあわせて、点検口フタ押えを上下2ヶ所に押し込んで取り付けてください。取り付け後、点検口フタが外れないことを確認してください。

#### 各部の名称



## 6. 仕様

商品名	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
製造企業名	株式会社ハウステック
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	P B F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.housetec.co.jp">http://www.housetec.co.jp</a>

## 7. 定期的な点検

### ●水受けトレイ・水受け容器の点検

ホース収納タイプのシャワー水栓をご使用の場合（水受けトレイ不要タイプは除く）、キャビネット背面には水受けトレイまたは水受け容器が設置されています。水受けトレイに溜まった水を定期的に捨ててください。長期間放置すると水受けトレイより水があふれるおそれがあります。

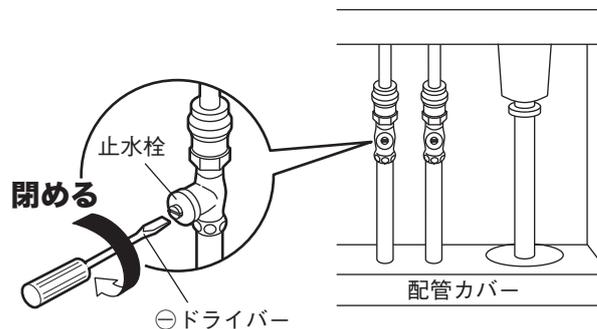
### ⚠ 注 意

- 給湯管及び湯側の止水栓に手をふれない。  
高温のため、やけどをするおそれがあります。

### ●水漏れ点検（月に一度）

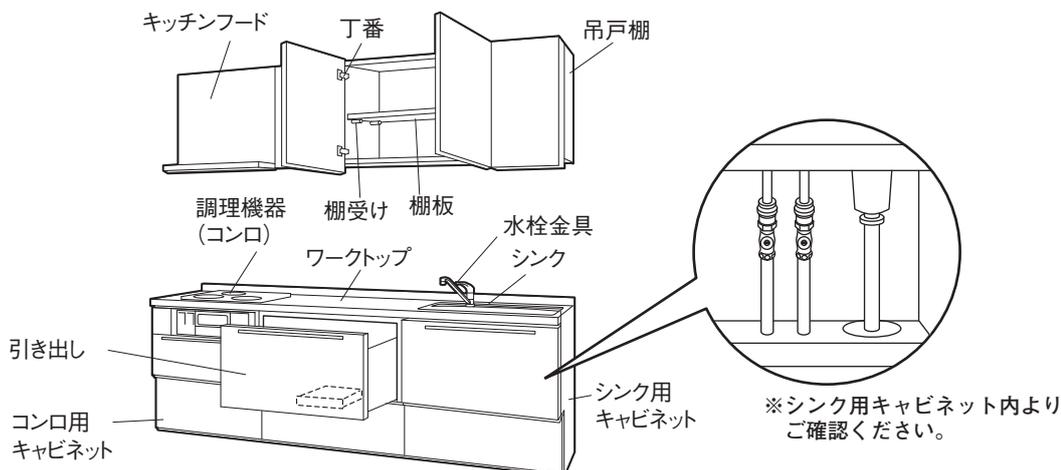
- ① スライド収納タイプの場合はシンク下の引き出しを取り外してください。  
・取り外し方はP11～12ページ参照してください。
- ② 配管まわりに水漏れがないか確認してください。  
・水栓金具、排水金具、キャビネットの内部、配管カバーの内部など十分に確かめてください。

水漏れしている場合  
止水栓または元栓を閉めてください。



### ●キッチン全体の点検（年に一度）

製品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を毎年1回は実施いただきますよう、お願い致します。



## 7. 定期的な点検（続き）

点検部位	点検していただくところ	現象	予測される損害
ワークトップ	①シンク周り、調理機器周り	ワークトップのひび割れや欠け	・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形 ・破損部への接触によるけが
キャビネット	②包丁差しの固定ネジのゆるみ	包丁差しがガタガタする	・包丁落下によるけが
	③丁番のネジ、引出し前板の調整ネジのゆるみ	扉・引き出しがガタガタする	・扉の脱落などによるけが
	④ウォールキャビの変形、丁番のネジのゆるみ	ウォールキャビの破損や扉がガタガタする	・収納物の落下によるけが ・扉の脱落などによるけが
	⑤ウォールキャビの棚受けの差し込み、棚板への積載重量	棚板の変形・反り、棚板がガタガタする	・収納物の落下によるけが
	⑥金属メッキ部	取っ手などの金属メッキ部にはがれがある	・はがれたメッキによるけが
水栓金具	⑧吐水レバー	レバーの動きが悪い、ガタガタする	・レバー破損による水漏れ ・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形
	⑨水栓配管接続部	水栓配管接続部からの水漏れがある	・異臭や水漏れ ・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形
排水部品	⑩排水部品接続部	排水部品接続部からの水漏れがある	・異臭や水漏れ ・キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ、変形
	⑪排水部品、排水部品接続部	排水部品の損傷	・異臭や水漏れ ・床の腐敗

■組み込まれる機器、水栓金具などはそれぞれの取扱説明書を確認してください。

■以上のことをお調べになり、具合の悪い時は、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

## 8. 保障・点検・修理のご案内

### 保証と保証期間について

- このシステムキッチンには、無料修理保証書がついています。本体・組み込み機器それぞれの保証書を確認してください。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。（保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください）
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。

### 修理を依頼されるときは

- システムキッチンが正常に作動しないときは、29～30ページの「定期的な点検」をご覧ください。それでも正常に作動しないときはすぐに使用を中止し、31ページのお問い合わせ窓口または、お買い求めの販売店にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
  - ① ご住所、お名前、電話番号
  - ② 型式名：キャビネット内側に貼付してあるキャビネット銘板に記載されています。
  - ③ 現象：できるだけ詳しくお知らせください。
  - ④ 訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

### 部品の最低保有期限

- 当社は、このシステムキッチンの補修用性能部品を、製造打切後、最低7年間保有しています。但し、組み込み機器などの補修用性能部品最低保有期限は、それぞれの保証書に記載されている期間となります。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 代替品対応部品：扉・引出し等の面材に関しては長期間の保存が技術的・品質的に困難なため、同等代替品での対応となる場合があります。

### 廃棄処分について

- 廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

## 9. お問い合わせ窓口

### ●お客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

個人のお客様

**0120-801-761**

※携帯電話の場合 **0570-001-761** (有料)

販売・施工など業者様

**0570-071-761** (有料)

●受付時間 平日 9:00～17:00 (12:00～13:00を除く)  
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

**0120-102-471**

※携帯電話の場合 **0570-002-471** (有料)

販売・施工など業者様

**0570-022-471** (有料)

●受付時間 365日 24時間  
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

個人のお客様

**0120-455-621**

※携帯電話の場合 **0570-002-621** (有料)

販売・施工など業者様

**0570-022-350** (有料)

●受付時間 平日 9:00～17:00 (12:00～13:00を除く)  
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

本取扱説明書の記載内容や製品の仕様は、改良のため変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。

## 10. 保証書

### 無料修理保証書

品名	システムキッチン			※型式
保証期間	本体： <b>1</b> 年 間	※お買い上げ日	年	月 日
※お客様	お名前：	様	TEL：	( )
	ご住所：			
※販売店	住所・店名：		TEL：	( )

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan  
本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に、本書記載内容にもとづき、無料修理をおこなうことを、お約束するものです。尚、本体組込機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証に関する書面に従います。

上記の保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店または別紙(同梱)のハウステックサービス網一覧の窓口にご依頼のうえ、本書をご提示ください。保証期間のお買上日は、改修の場合は、改修部分の設置完了の日、分譲及び賃貸マンションの場合は、建築主様に引き渡しされた日とします。

- 保証期間中であっても次のような場合には適用を除外し、有償修理とさせていただきます。
  - 保証書のご提示がない場合。
  - 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの。
  - 仕上げのキズなどで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
  - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
  - お買い上げ後の設置場所の移動、分解等による故障及び損傷。
  - 取付・設置の不注意、過失による故障及び損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常水圧及び燃料、給水の供給事情による故障及び損傷ならびに自然消耗。
  - ねずみなどの動物や昆虫などによる故障及び損傷。
  - 温泉水・井戸水など水道関連法令に定める飲料用水水質基準に適合しない水を使用したことによる故障及び損傷。
  - 指定規格以外の条件(電源・水圧・水質など)による故障および損傷。
  - 消耗部品(電球・グローランプ・バッキンなど)の消耗による故障および損傷。
  - 商品、部品の経年変化または使用に伴う磨耗など。(たとえば扉塗装の色あせ、木製品の反り、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色など)
- 一般家庭以外(たとえば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
- 維持管理の不備による水漏れ、膨れ、汚れ、さび、給水管、排水管の詰まりなどの不具合。  
(例)・ヌメリ取り剤使用によるシンクのさびや水漏れ  
・清掃不足による水垢固着  
・水濡れ放置による扉の膨れなど
- 第三者による管理上、メンテナンス上等の不備に起因する不具合。  
(例)・ハウスクリーニング業者が指定以外の洗浄剤使用によるシンク、扉、塗装面などの変色や腐食など
- 故障の原因が本機以外にある場合。
- 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- 展示品を転売された場合。
- 日本国外でご使用された場合

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後は、修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有償にて修理をいたします。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎていたり、修理できない場合があります。※修理料金：部品代+技術料+出張料

## 株式会社ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel.027-395-0410 [www.housetec.co.jp](http://www.housetec.co.jp)